

MOOSE ROOM WOKS 製 戦闘飯盒 2 型

【取扱説明書】

この度は MOOSE ROOM WORKS の製品を御購入頂き有難う御座いました。こちらの説明書を読んだ上で御使用ください。約 10 年前に防衛省自衛隊の戦闘飯盒 2 型の製作をしていた会社様に御依頼をし、当時の工場（ベトナム）、当時と全く同じ金型、治具、塗料を使用して製作された再生製品となります。

【使用方法】

一般的な 4 合炊き飯盒と大きく異なるのはコンパクトさ、2 合炊き飯盒である、中子が存在する、吊り手部分が上下可変する所となります。飯盒＝ミリタリーなイメージが強いかも知れませんが、とても優秀なクッカーであるが為、長い間使われている事が使用する事で気が付くと思います。是非、戦闘飯盒 2 型を使った調理を楽しんでください。

※まず御使用になる前に一度洗剤などで洗浄をお願い致します。

1、本体に関して

一番大きい器部分が本体となります。中にはメモリが付いており、このメモリは 2 合のご飯を炊く時の水量の目安となります。お米を洗浄した後、本体に入れてメモリまでお水を入れて 1 時間くらい付けておいてください。その後火をかけてご飯を炊くとふっくらとしたご飯を炊く事が出来ます。

2、中子に関して

本体に重ねてついているシルバーの器を中子と呼びます。こちらにもメモリが付いているのですが、このメモリは 2 合のお米を量る目安となります。

3、上蓋に関して

本体に被さっており、取っ手が付いている器を上蓋と呼びます。この取っ手の後方 L 字の部分に中子についている長方形の隙間にドッキングする事が出来ます。こうする事で皿を 2 つ片手で持つことが可能です。上蓋は器だけでは無く、簡易フライパンとしても御使用可能です。

4、吊り手に関して

オリジナルでは長いので、MOOSE ROOM WORKS 製の戦闘飯盒 2 型はショートバージョンも同梱しております。吊り手をショートに付け替える際、耳がねに付いている吊り手部分を少し開く事で外して付け替えをしてください。

5、吊り手の固定

耳がねに吊り手を固定する際ですが、本体と吊り手を垂直にして強めに上に引っ張る事で吊り手を伸ばした状態で耳がねに固定が出来る仕様となっております。

ただ、全ての個体が上手くいく訳でもなく、自身で吊り手を調整してあげる事が必要になってる個体がほとんどとなっております。その際ですが、吊り手を上に引き上げた際、耳がねに引っかかる部分がきつめに絞ってる、もしくは耳がね以上に開いています。これは当時の治具では完璧に仕上げる事が難しいとの事です。ここはお客様自身で調整が必要になってきますので御理解ください。

※調整方法は最後に記載していますのでご覧ください。

OD 色の場合は塗料がある分、摩擦度が大きい為、固定される力が強いです。
上蓋の取っ手も同様で OD 色の場合は上蓋を本体に被せた後、取っ手を開いた状態で固定されますが、シルバーの場合は下がってしまいます。理由としては塗料の分、摩擦が無い為、そうなってしまいますので不良ではございません。

【塗料が剥げる部分】

OD 色限定の話になりますが、上蓋の取っ手稼働部分、耳がねと吊り手が密着してる部分は使用しているうちに塗装が剥がれていきますので御理解ください。

【警告】

- ・ガスバーナーで御使用の際、五徳中心に設置した上で火が本体外に出ない様に火力調整をしてください。吊り手や取っ手が熱くなりやけどの原因となります。
- ・焚き火で御使用の場合も上記内容と同様、火が本体外に出ない様に火力調整をして御使用ください。吊り手や取っ手が熱くなりやけどの原因となります。
- ・木炭で御使用される場合は、木炭に直置きすると温度が高すぎる為、製品自体を痛めつけてしまう可能性が十分ございますので御注意ください。
- ・空だきは絶対にしないでください。
- ・調理の際は安定のよい水平な場所を選び御使用ください。
- ・電子レンジでは御使用出来ません。

【注意】

製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら MOOSE ROOM WORKS まで御連絡ください。(y.kawataka@ssp-os.co.jp) 製造上の欠陥などが理由の場合は無償で交換致します。交換の判断は弊社の判断とさせていただきますので、御理解の程、宜しくお願い致します。

ミリタリーイメージの強いクッカーですが、私が今まで使ったクッカーの中でも一番優秀だと思っております。一生と言っても良いくらい長く使える製品ですので、是非ともよろしくお願い致します。

【販売元】

MOOSE ROOM WORKS

北海道札幌市中央区北 2 条西 2-29-1

札幌ウイングビル 9F

お問い合わせ y.kawataka@ssp-os.co.jp

※戦闘飯盒 2 型 OD 塗装に関して

私自身が当たり前だと思っていた事が不良品と取られる可能性があると思った為、念の為に塗装に関する説明になります。

塗装検証に関しては、防衛省に卸す基準となっていた「基盤目試験」を行っており、クリアしております。

ただ御使用される状況によって直ぐに表面塗装が剥げてしまいます。

基本的にバーナーなど火力調整が出来る火元を使用し、中火くらいでの火力で使用して頂く事で本体塗装に影響を及ぼす可能性が低いのですが、直火、強火、焚き火などで使用すると表面塗装は直ぐに剥がれてしまいますが不良品ではありませんので、御理解の程よろしくお願い致します。

※吊り手を耳がねに固定する際の調整方法

まず吊り手を上げる所まで引き上げます。横から耳がねを見た際に写真1の様に出ているら吊り手側が絞り気味の可能性があります。その際は吊り手をゆっくりと広げて上げながら吊り手を引き上げてください。そうする事で耳がねの密着度があがって固定されます。ただ広げ過ぎると未着度が下がって引っ掛かりが無くなります。その際は引き上げた状態で広げるのとは逆に絞ってあげる作業をする事で密着度を上げます。DIY 感覚で楽しんで貰えたら幸いです。このパーツの精度を上げる事は可能なのですが、耳がねの金型を改めて作り直すという意に反する結果になってしまう為、御理解の程、お願いします。

